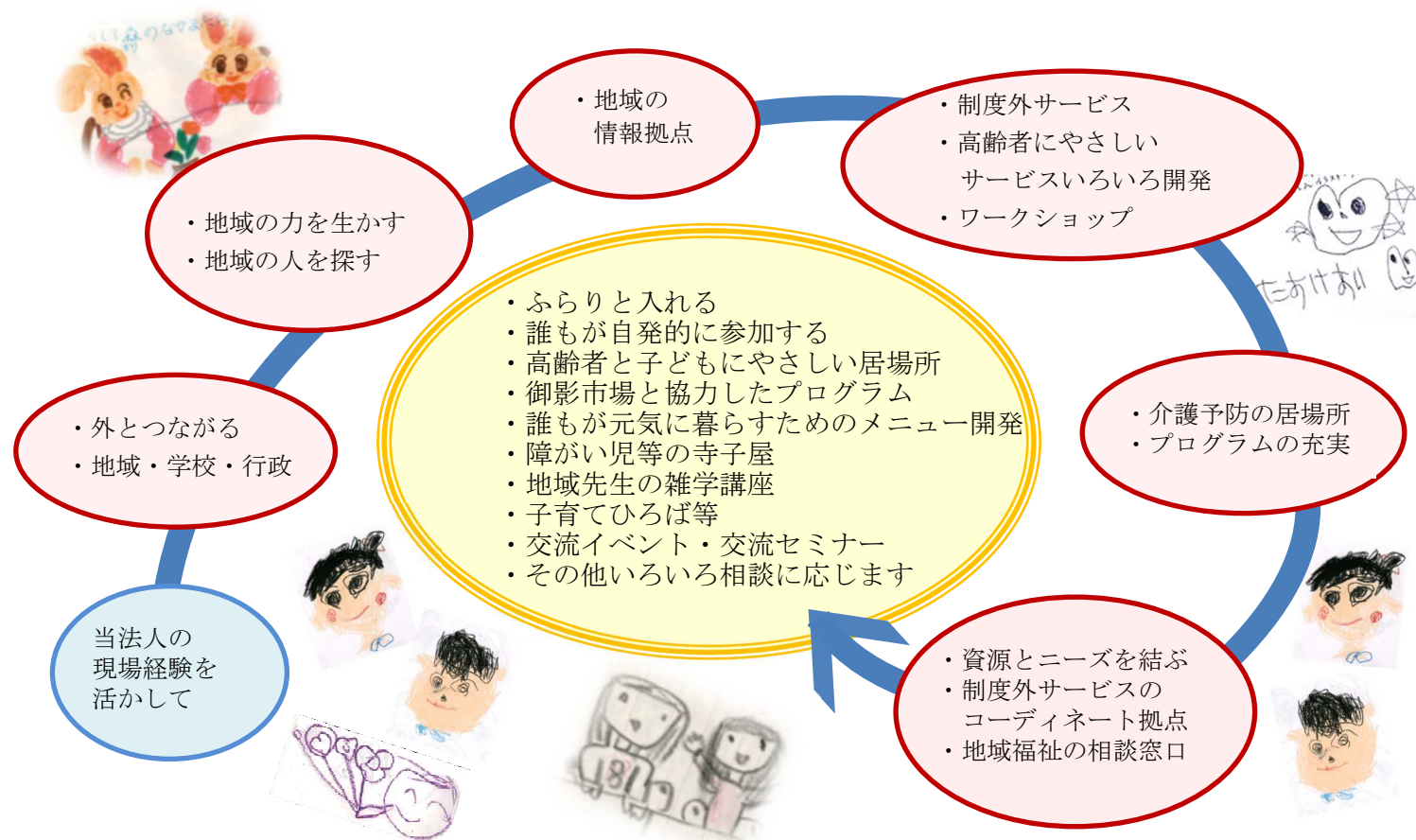


## 平成28年度 事業の重点目標 地域支え合い体制づくりに向けて

今、お元気な方も将来は誰かの支えが必要になってきます。それを少しでも遅らせるために、私たちは「予防」の取り組みを行ってきました。これまで積み上げてきた経験を地域に役立てていただくためにどうすれば良いかを考えています。以下の図はイメージです。



## 28年度事業計画

### ◆地域支え合い体制づくり

(上記の図参照)

### ◆居場所プログラムの充実

歌声カフェ・おしえあいカフェ・手話カフェ・リメイク・オカリナ詩吟・絵本の読み聞かせ講座

### ◆ひまわり畑(放課後デイサービス)

グレーゾーンの子ども・不登校・支援学校卒業後の居場所など、他団体と協力して解決策を図る。

### ◆コンシェルジュの配置

相談受付・対応・事業の案内

### ◆地域先生の学習支援

### ◆子育て支援の充実

### ◆職員研修の継続

### ◆利用者満足度の再調査

## 熊本支援への募金・寄付金の受付

### 熊本のNPO「地域助け合いの会」に全額寄付！

#### 募集内容

##### ①がんばるモン募金で応援

◆事務所前に義援金BOXを設置中。  
◆2,000円以上ご寄付いただける方は、税額控除の対象になります。事務局にお問い合わせください

##### ②リサイクル品で応援

◆ご家庭や事務所・倉庫に眠る不要品を募集しています。売上金は、全額被災地にお届けします。  
◆衣類・食器・日用雑貨・贈答品  
◆未使用切手・書き損じハガキ・金券・ギフト券・テレカなど

募集期間：6/15～7/14

大量の場合は車で取りに伺います。お電話ください。

#### 「NPO法人

#### 地域助け合いの会」

このNPOは公園で車中泊をしている高齢者、母子、障害者に対して夜まわりで関係づくりを深めて、ショートステイの受け入れをしています。住民参加型団体で、当法人と付き合いのある団体です。



私たちは市民が助け合い安心して暮らせる共生社会を目指しています

# たすけあい通信



平成28年・夏号  
通算87号

発行 認定NPO法人 東灘地域助け合いネットワーク 843-4029/843-4446 (FAX)842-2907

どんな小さなことにも即対応  
何でもやります！運営委員たち

・菌 直人 ・下村 由美  
・村山 メイ子 ・越智 美恵

子育てと  
両立！！  
おやつ時間が  
楽しみです

・角 由紀(右)  
・井上綾子(左)

## STAFF紹介



第2・第3の職場で頑張る元気シニアは今日も絶好調？

・寺井 康裕・瀬上 秀晴・河村 大輔・山田 周二

利用者さんの笑顔に癒されています。  
転勤です。9月より千葉からエールを送りま～す

・杉山 由美

### 有償ボランティア募集中

- ◆対象：年齢不問。楽しんでボランティアできる方で、人と接することの好きな方
- ◆内容：コンシェルジュ（受付・案内・対応）お茶出し・片付け・コーディネート等
- ◆勤務：10:00～17:00（土曜を含む週3日以上）※委細面談、一定期間経過後、事務局スタッフへ登用もあり

### 機関紙「ばらボラ」名称変更

「ばらボラ」の名称を「たすけあい通信」に変更しました。  
変更の理由は情報紙「東灘ばらボラ」と混同される方が多く、混乱を避けるためです。略称を「通信」で定着させたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



## 平成27年度 事業の成果

# 経験とノウハウを地域に活かしたい

理事長 村山メイ子

## 神戸市から認められました。「認定NPO法人」取得

1月26日、神戸市より認定NPO法人として認証されました。市内では754法人中15番目、東灘区内では3番目の認証でした。利用者をはじめとする皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

神戸市の担当職員から「取得できたら何を実現させたいですか」との問いに対し、「認定NPOとして地域から信頼される団体になりたい。もうひとつは、『東灘ぱらボラ』の発行部数を増やし、人と人とのつながりを応援できる紙面づくりをめざしたい」と答えました。

有言実行！！

公益の一端を担う法人として、皆様と共にぜひとも実現させたいと思っています。微力ではありますが、現場で積み上げた経験とノウハウで地域に役立ちたいと思っています。

御影市場に拠点を移し18年目になりますが、未だ地域とのつながりは非常に少ないと感じています。ひとつには私たちの努力不足があり、来られる人を「待つ」という消極的な姿勢しか取ってきませんでした。

認定取得を機に、私たちが地域に出向き、もう一步踏み込んで、出会いの機会をつくることから始めたいと思っています。スタッフが一丸となり、広く地域から支持される団体をめざします。



### がんばってファンをふやそう

認定には5年の有効期間があり、当法人の場合は2021年の1月25日までとなっています。引き続き5年後も、認定NPO法人として継続できるよう、日々の努力が必要です。

「年間3,000円以上の寄付が100人以上」という絶対値基準は、地域の幅広い方々から応援を頂かないと達成できません。そのため当法人のファンを増やせるように努めます。

## 改善必要・利用者満足度調査の実施

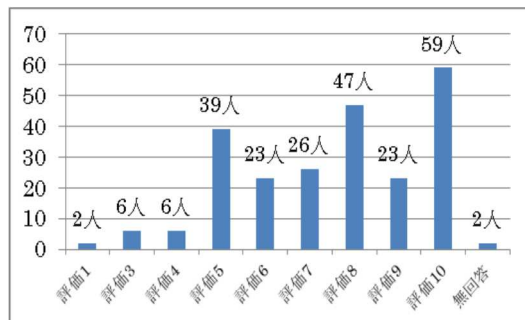
27年11月26日～1か月間、当法人のトータルアドバイザーの兵庫県立大学教授 當間克雄さんによる満足度調査を実施しました。約300枚の配布に、233人からの回答がありました。

回答には「何をしているところ？」「入りにくい」などの厳しい意見もあり、当法人は地域の住民や利用者に、活動内容そのものがあまり知られていないのが現状でした。これをチャンスと捉え、さっそく看板や掲示板を新設しました。

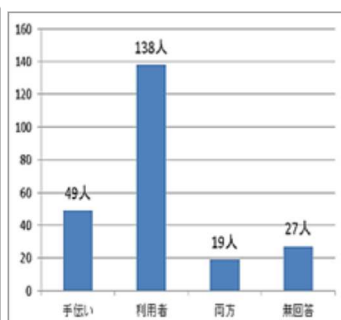
しかし、大切なことは、「話しかけやすい、聞きやすいスタッフ」の存在です。今後は「笑顔であいさつ、できない時は目礼」を全員で心掛け、気軽に入りやすい雰囲気づくりをめざします。



事務所北側入り口に新設した掲示板



利用者満足度調査10点法 度数分布 (233人)



回答者の当法人への関わり方

## 地域の支え合い体制づくり

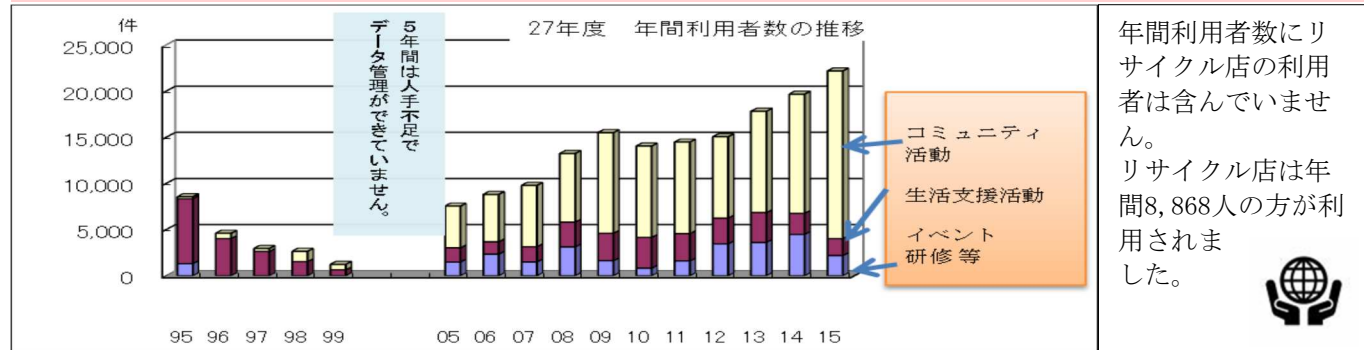
人口減少社会に突入しましたが、支援を必要とする高齢者は増加しています。地域の支え合う体制づくりに向け、以下の5つに取り組みました

- ①介護予防と日常生活支援の基盤整備に向け、行政・社協・地縁団体等の諸団体が集まり、情報交換・課題共有をしました。
- ②居場所プログラムの充実
  - ・ふれあい昼食会（毎週土曜に拡大）
  - ・こどもレストラン（第3土曜の取り組みに）
  - ・介護予防（口腔ケア・栄養改善の追加）
- ③「認知症でも利用できる居場所づくり」の連続講座（全4回）開催。主催はひょうごん福祉ネット（住民参加型NPOの集まり。当法人は副事務局を担う）
- ④理事長 村山メイ子が神戸市の市民福祉調査委員会特別委員になり、次期改正に向けて現場の意見と高齢者の声を神戸市に届けました。
- ⑤東灘区北部地域にチラシ配布、過去利用者への電話作戦を展開した結果、点的な庭仕事と掃除に留まり、線・面的拡大への課題が残りました。

## ひまわり畑(放課後ディサービス)

- ①長期休みに昼食を200円で準備、祝日開所を試みたところ、1日平均7～8名の参加がありました。
- ②ハロウィンで、子ども達が御影市場の各店を回り、直接 お菓子をいただきました。
- ③毎月第3土曜に本部で行ってきたひまわりの料理教室を11月から「こどもレストラン」として、地域住民のふれあい昼食会に食事を提供してきました。子どもたちは高齢者と食事を楽しんでいます。

## 年間利用者延べ22,413人+8,868人



## 平成28年第16期 役員体制

|                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 理事長 村山メイ子                   | 理事 坏 光子(シルバーインフォメーション代表)    |
| 副理事 藺 直人                    | 理事 柳田 洋(知的障害者施設連盟 会長)       |
| 副理事 下村 由美                   | 監事 山口 一史(特)ひょうご・まち・くらし研究所理事 |
| 理事 森口 恒子                    | 監事 玉澤 道夫                    |
| 理事 田辺 克之(神戸自由学院校長)          | トータルアドバイザー 當間克雄 (兵庫県立大学教授)  |
| 理事 河合 将夫(office musubime代表) |                             |